



平成21(2009)年度 外務省委託事業

平和構築人材育成事業



ロゴについて：HPCのロゴは、不死鳥を象ったもので、奇跡の戦後復興を遂げた広島で、紛争後の国を支援する平和構築のプロを育成するというHPCの精神を象徴しています。

発行年月：2010年3月
発行：広島平和構築人材育成センター
Hiroshima Peacebuilders Center (HPC)
〒730-0051 広島市中区大手町3-8-3
特定非営利活動法人ピースビルダーズ内
TEL:082-247-0645 FAX:082-247-0643
e-mail : hpc@peacebuilders.jp
URL : <http://www.peacebuilderscenter.jp/>

コピーライト(c)：外務省
企画・編集：特定非営利活動法人ピースビルダーズ（PB）



日本からアジアから世界の平和に貢献したい



HPC

Hiroshima Peacebuilders Center
広島平和構築人材育成センター

本事業の概略

平和構築の文民専門家を育成します

「平和構築人材育成事業」は、文民の平和構築の担い手を養成することを目的として外務省が立ち上げた人材育成事業です。平成21(2009)年度は、外務省の委託を受けた特定非営利活動法人ピースビルダーズが国立大学法人広島大学と共同で運営する「広島平和構築人材育成センター(Hiroshima Peacebuilders Center: HPC)」が中心となって事業運営を行いました。国内研修と海外実務研修で今後平和構築分野でキャリア形成を目指す即戦力を育成する「本コース」官民のシニア専門家に国内研修を行った上で海外派遣をする「シニア専門家向けコース」及び将来、平和構築分野に関わりたい方のための「平和構築基礎セミナー」を設け平和構築の現場で活躍する日本およびアジアの文民専門家の養成を行いました。国内研修では、平和構築に関する実務や研究分野の第一線で活躍する講師陣を迎へ平和構築に必要な知識・技能・姿勢を修得してもらいました。海外実務研修・海外派遣は、国内研修で習得したスキルを実践し平和構築の現場で即戦力となる現場経験を積むため国連ボランティア計画(UNV)が研修員の希望や適性を勘案し国際機関などの海外フィールド事務所に派遣を行いました。さらに本コース研修員に対しては、平和構築の専門家として引き続き活躍するための就職支援も行います。

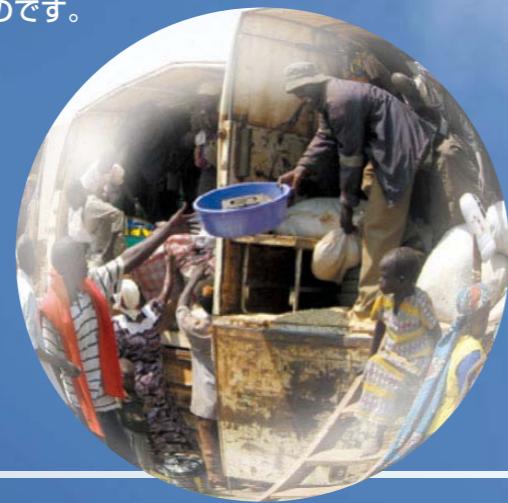
この冊子は本事業を広く知っていただくため

平成21(2009)年度の事業の内容を紹介するものです。



contents

本事業の概略 平和構築の文民専門家を育成します	1
紛争から平和へ なぜ国際支援が必要なのか	2
•平和構築とは?	
“平和構築の「担い手」をつくります” 平和構築人材育成事業	3
•MESSAGES	
“国際平和に向けての人材貢献” 本事業に至るまで	4
•実施体制	
“平和構築支援の文民専門家を養成します” 平和構築人材育成事業概要	5
“平和構築のプロとなるべく現場の知識・スキルを修得” 本コース	7
“シニア専門家の知識を平和構築の現場で活用” シニア専門家向けコース	11
“平和構築活動の基礎知識を幅広い層へ” 平和構築基礎セミナー	15



紛争から平和へ なぜ国際支援が必要なのか



世界中でなお紛争が絶えない今、紛争はそこから遠く離れている私たちの経済活動や環境にも何らかの関わりを持っています。破壊された町や心身ともに傷ついた人々が紛争後の社会を再建するには非常に困難があります。それは現地社会の人々だけでは成し遂げられないかもしれません。二度と紛争が起らない平和な社会を創る「平和構築」には、法律、政治、経済、警察などを作りかえていかなければならず、様々な分野のいろいろな能力を持った人びとが必要になってくるからです。

そこで同じ地球上に住む市民であるわれわれは、苦しむ人々への救済や紛争解決のための具体的な方法を見出すことが求められているのです。

現在行われている平和維持・平和構築では文民の活躍の場が広がっているにもかかわらず、高い能力が求められるため、まだまだ担い手が

足りていません。平和構築の現場は非常に複雑で、武力勢力や犯罪組織、汚職といった状況に直面し、フィールド体験からしか得ることのできない能力が求められます。加えて現地社会の仕組みや価値観などを尊重した質の高い平和構築手法が要求されます。

また平和構築の現場では、専門的知識・技能、現地社会の人々と円滑にコミュニケーションする能力、前向きな思考、強い意志がなければ活動を続けていくことはできません。高い能力と強い意志の2つが備わっていなければ国際社会が必要とする平和構築の専門家とは言えないので

日本が経験した復興の歴史や、アジアの視点を活かした幅広いアプローチをもとにした人材育成事業を通じて、平和構築の専門家を「ヒロシマ」から送り出すことは、とても象徴的な意味を持ちます。平和構築の現場で真の平和を創り上げる際のより強い平和へのアピールとなるからです。日本から、アジアから飛び立つ真の平和構築の専門家を、紛争で傷ついた社会の人々は待っています。

「平和構築」とは?

HPCでは、「平和構築」を、「永続的な平和のための社会的基盤を作る活動」と考えています。具体的には、武装解除・動員解除・元兵士の社会再統合・秩序の回復・兵器の管理・可能な限りの破壊・難民の帰還・治安維持要員への助言・訓練支援・改革・選挙支援・社会・経済開発などがあり、担い手は中央・地

方政府、国連あるいはその他の国際組織、非政府組織など様々です。紛争中であっても軍事的なものから政治的なものへと移行させる作業とも言われ、腐敗撲滅やHIV/AIDSなどの感染症教育・制御といった紛争処理だけではない平和のための社会的基盤を確立するための活動を広く指します。





平和構築の「担い手」をつくります

平和構築人材育成事業

MESSAGE



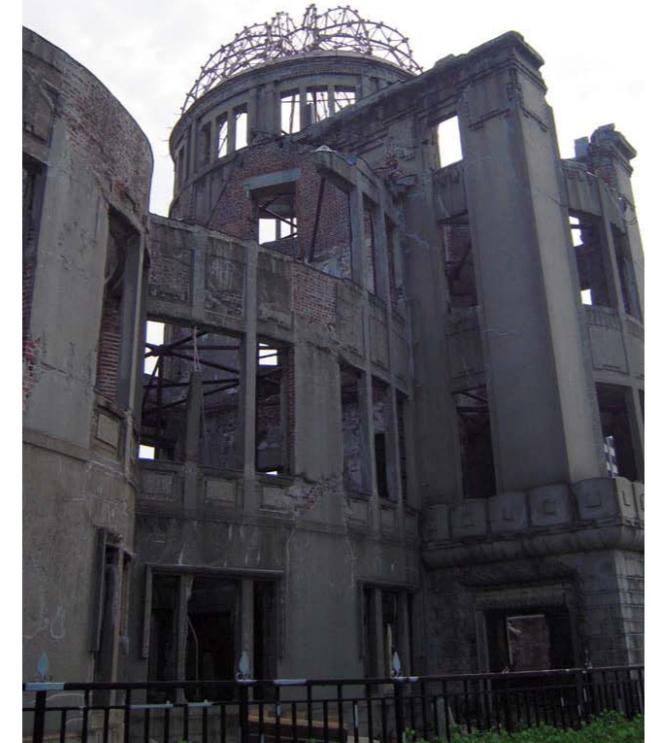
岡田 克也
外務大臣

本事業は国際社会の平和と安定に貢献する我が国外交の重要な柱です

平和構築は、国際社会全体にとって重要な課題であり、その活動範囲が多岐にわたることから、文民が果たす役割はますます重要になってきています。我が國も戦後の焼け野原から立ち上がり、国際社会からの支援を受けながら、世界に誇る平和で繁栄した国家に生まれ変わった実績があります。日本自らの経験を生かし、他のアジア各国と協力しつつ、国際社会に人材を輩出するこの事業は、紛争後の平和で豊かな国造りに貢献する我が国外交の重要な柱の一つです。

地球温暖化やテロ、大量破壊兵器など多様な問題に対処するため、国際社会は一致協力することを求められています。特に国際平和と安全の維持においては国際社会の協力的重要性が増しています。日本では唯一の被爆国として核兵器をはじめとする大量破壊兵器等の軍縮や不拡散などに取り組み、人的貢献としてPKOへの要員派遣やテロ対策への取り組みなどを行ってきました。しかし紛争を解決し平和を構築する分野での人材の育成はまだ発展途上にあると言えます。

これまで日本の平和構築は世界の平和と発展のために「現場での取り組み（PKOやODAなど）」「知的貢献」「人材育成」を3本柱に取り組んできました。このたびの「平和構築人材育成事業」は3本柱のひとつである人材育成を主目的に実施し、同時にシンポジウム開催等による「知的貢献」も視野に入れながら、日本のみならずアジアからも人材を集めて、平和構築の専門家の養成を行いました。日本そしてアジアから世界の最前線に立つ高い能力を持った人材を一人でも多く育成することを目指しました。



国際平和に向けての人材貢献

本事業に至るまで

紛争に苦しむ国々に対し、平和の定着や国づくりのための協力を強化し、日本の国際協力の柱とするための検討を行うため、平成14（2002）年「国際平和協力懇談会」（明石康・座長）が開催され、同年12月に報告書がとりまとめられました。そこで官民が一体となって、国際平和協力活動の人材の養成・研修・採用・派遣を効率的・総合的に行う有機的なメカニズムの創設が提唱されました。その後の平成16（2004）年4月、人材育成のための具体的な施策を明らかにした「行動計画」が策定され、同年12月には「国際平和協力分野における人材育成セミナー」などが開催されるなど人材育成の重要性の認識が高まっています。このような経緯をうけ、平成18（2006）年8月、国連大学で開催された「平和構築を担う人材とは・アジアにおける平和構築分野の人材育成に関するセミナー」で「平和構築分野の人材育成のためのパイロット事業」の立ち上げが表明されました。加えて翌平成19（2007）年1月に開催された東アジアサミットなどで、日本による東アジア協力のひとつとして「平和構築分野の人材育成構想」が表明され、日本のみならずアジ

アを含めた事業となることが明確になりました。日本が世界の平和と発展に貢献し、平和構築分野におけるさらなる協力を行っていくため、平成19（2007）年度から20（2008）年度の2ヶ年にわたって本事業が実施されました。本事業の修了生は既にスダーンや東ティモール等の平和構築の現場で活躍しています。こうした事業の成功をうけ、今年度からコースを増やし、事業を拡大しました。

実施体制

本年度事業は、広島平和構築人材育成センター（Hiroshima Peacebuilders Center: HPC）が、国連ボランティア計画（UNV）と共同で実施しました。

広島平和構築人材育成センター（HPC）

HPCは、平成21（2009）年度外務省「平和構築人材育成事業」を受託した特定非営利活動法人ピースビルダーズが、国立大学法人広島大学の協力を得て運営しました。特定非営利活動法人ピースビルダーズは、広島を拠点に平和構築や人間の安全保障に関する諸事業を行っています。本事業では専門要員を配置した事務局を設け、事業運営全般を行っています。

国連ボランティア計画（UNV）

世界の平和と開発を支援するためにボランティアリズムを推進する国連機関です。ボランティアリズムは開発のペースや性質を変える力を持っており、社会全体とボランティア個人に対して利益をもたらすものです。UNVは地球規模のボランティアリズムの啓発、ボランティアリズムを開発計画に融合するためのパートナーとの連携、そしてボランティアの動員を通して、世界の開発に貢献しています。本事業では海外実務研修・海外派遣を行いました。

MESSAGE



伊勢崎 賢治
特定非営利活動法人ピースビルダーズ代表理事
東京外国语大学大学院総合国際学研究院教授

平和構築に貢献できる将来のプロを「開発」します

このプログラムは単なる「訓練」ではありません。「ピースビルダー」を作るための「人材開発」事業です。世界中のどんな地域においても平和構築に貢献できる将来のプロフェッショナルを「開発」するプログラムなのです。私たちは、平和構築への強い意志を持つ若きピースビルダーたちが、お互いを励まし続けられるコミュニティを創り出し、彼らにアジアやその他の国々において社会改善の主流を担う存在となっていただきたい。そういうことで「ピースビルダーズ」としてのキャリアを強固なものにすることができると信じています。

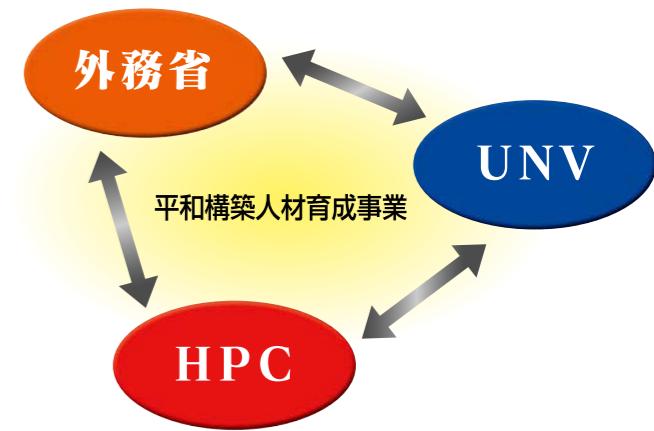
MESSAGE



フアビア・パンシエーリ
国連ボランティア計画（UNV）事務局長

ボランティア精神は平和と発展の力強いリソースです

本事業の研修員は平和構築の現場でベストを尽くせるよう、国内研修を通して必要な知識とスキルを着実に身につけます。そのためパイロット事業で海外実務研修に協力したUNVやその他国際機関は、質の高い人材を受け入れることができました。今年度もまた、研修員のプロとしての意識とボランティア精神が幅広い平和構築活動へと導いてくれることに期待しています。また、研修員の方々にはボランティアリズムが平和と発展の力強いリソースであることを実感し、研修後もそれぞれの方法で平和構築の取り組みに貢献し続けて欲しいと願います。





平和構築支援の文民専門家を養成します

平和構築人材育成事業概要

平成21(2009)年度外務省委託「平和構築人材育成事業」は平和構築の様々な分野で活躍する「平和構築の文民専門家」の育成を目的とした事業です。日本およびアジアの人々のネットワークの拠点事業として、単に個別的な専門知識・技能を得ること自体を目的とするのではなく、総合的な観点から平和構築の人材を育成することを目指しました。

目的に合わせて研修員がキャリアアップしていくように「本コース」、「シニア専門家向けコース」、「平和構築基礎セミナー」の3コースを設置しました。「本コース」と「シニア専門家向けコース」は国内研修と海外実務研修・海外派遣が行われ、国内で修得したスキルを平和構築の現場で実践し、即戦力となることを目標としました。

「平和構築基礎セミナー」以外の講義はすべて英語で行いました。またアジアからの研修員の中にはアフガニスタンやイラク、フィリピンのミンダナオ等、紛争経験地域からの研修員もいるため、平和構築の現場環境に近い国際的な環境で学ぶことになりました。海外での研修は国連ボランティア計画(UNV)が海外派遣関連業務を行い、研修員はUNVを通じて派遣され、研修期間中は国連ボランティアとして平和構築の業務に携わることになります。



1 本コース

平和構築分野におけるキャリア形成のため日本およびアジア諸国から集まった研修員が、「国内研修」では約6週間にわたり切磋琢磨しました。国内研修後は、国連ボランティア計画(UNV)を通じて「海外実務研修」を行っています。国際機関などの平和構築の現場へ最大12ヶ月間派遣され、実務経験を積んでいます。日本人の研修員に対しては就職支援も行います。

2 シニア専門家向けコース

これまでの知識や経験を活かして平和構築の現場で活躍したい官民のシニア専門家を対象に、事業の拡充に伴い新設されました。日本およびアジア諸国から集まった研修員が国内で約6週間の「一般研修」を受けた後、日本人研修員は約12か月の海外派遣を行い、即戦力として平和構築の現場で貢献します。

また、修了生には縦と横のつながりや講師経験者や有識者とのネットワークを活用してもらい、平和構築の現場で活躍する機会が提供されます。

3 平和構築基礎セミナー

平和構築の基礎理解増進を目的に「平和構築基礎セミナー」が新設されました。公務員やNGO職員など将来的に平和構築に携わる可能性のある人を対象に、広島平和構築人材育成センター(HPC)と国連大学(UNU)の共催で実施しました。「平和構築総論」、「国連システム」、「安全管理・ストレス管理」など第一線で活躍する講師陣による研修が東京で行われました。

4 知的貢献

本事業では一般の方の平和構築への理解の促進のため、気軽に参加できる様々なイベントを実施しました。また、東ティモールでの専門家会合や「平和構築」をテーマにしたセミナー、シンポジウム、パネルディスカッションなどを行い、国内外で平和構築の意義や重要性を伝えました。

5 就職支援／ロスターシステム登録

ロスター制度を構築し、平和構築関連の採用関連情報の提供や国際機関関係者等による助言制度など、就職のためのサポート体制を確立しました。

また、研修員同士、国内外の研修講師陣、海外実務研修先の機関など、研修を通じて幅広い人脈を築き、今後のキャリア形成に役立てることができます。



研修から現場派遣まで

